

□議員名：中村 博行

1 更生保護について

論点	再犯防止条例を制定する考えはあるか。新年度予算で新規事業である再犯防止計画推進事業 9 万円の内容についても問う。
回答	「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行され、地方自治体に対して地方再犯防止計画を策定するよう努力義務が課された。本市においては令和 3 年度に計画策定委員会を設置し、再犯防止推進計画を策定する予定である。現時点で、条例制定までは考えていない。

論点	入札について、以前から提案している総合評価方式導入の検討は進んでいるか。
回答	競争入札方式を採用しているが、企業の地域貢献度に関する評価項目を追加設定し、その一つとして更生保護協力事業所の登録を考えている。県の審査委員会の意見聴取を終え、改正は適切との報告を受けたので、令和 3 年度から実施できるように手続きを進めている。

論点	保護観察処分が解除された少年の就職先として、市の会計年度任用職員に採用することの前向きな検討はしているか。
回答	就労支援や雇用の確保が重要であるという認識は変わっていないが、対象者のプライバシーの確保やトラブルが発生した場合の責任の所在等、様々な課題があるため、現時点においては本市の会計年度任用職員で採用することは困難であるという結論である。

論点	更生保護行政のこれまでの取組を評価した上で、今後どのように取り組むのか。
回答	毎年 7 月の「社会を明るくする運動」での街頭啓発や講演会の実施、また山陽小野田保護区保護司会、山陽更生保護女性会に対し、補助金を出して支援している。今後については再犯防止推進計画を策定予定で、関係団体等の意見を聞きながら更生保護に取り組んでいく。

## 2 鳥獣対策について

論点	繁殖力の強いヌートリアの駆除対策に本腰を入れる時期が来ていると思うが、今後どのように取り組むのか。
回答	既に、市内各所において目撃情報があり、生息範囲も広がっていると思っている。昨年度から地元自治会等にも小型箱わなの貸出事業を始め、駆除に乗り出している。ヌートリアの捕獲に対し、奨励金を交付している他市の事例も参考にして有効な駆除に努めていく。

論点	鳥獣被害対策の要である猟友会への支援をもっと強化すべきではないか。
回答	有害鳥獣捕獲委託料や有害鳥獣捕獲奨励金を出しているが、基本的に目的からして駆除のためのものである。今後は猟友会と一緒にやっていく中で、免許の更新、銃の取得等の補助金についても研究しながら、猟友会としっかり駆除の体制が取れるよう協議していく。